

秋の実りを体感しています！



幼稚園の園庭の水槽で育てた稲が大きく育ち、お米がたわわに実りました。子どもたちは、自分のハサミで真剣に稲穂を収穫しました。
「おにぎりパーティーしたいなあ」と思いは膨らんでいます。



収穫した稲穂を紐で縛り、干す作業も経験しました。「紐で稲穂を縛る」ために、手元をしっかりと見て、指先を使っていました。子どもにとっては少し難しい作業でしたが「美味しいお米にするために」やりきることが出来ました。

稲穂を今、天日干ししています



苗が日に日に大きくなる様子を観察する中で自然の不思議さを感じている子ども、稲穂を育てるためには「水」が欠かせないことを実感している子ども、ヤゴが稲穂を昇って羽化することを知った子ども(ヤゴの抜け殻を発見したことから)、お米が食べられるようになるまで、たくさんの手間がかかることを知った子ども、様々なことを感じ、学ぶことができた経験でした。大きくなった時に、「知ってる!」「やったことある!」という安心感が次に「今度もやってみよう」「(さらに)頑張ってみよう」という気持ちにつながることを願っています。



ピーナッツも収穫しました。土の中から次々出てくるピーナッツに大喜びの子ども達でした。ピーナッツの横に小さな幼虫も発見しました。
自然とのかかわりの中で子ども達の興味や関心が高まる事象がたくさん起こります。発見したり、考えたりする機会を大切に保育していきたいと考えています。

